

製品名: CHD6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08748**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:300, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	298kDa

抗原情報

遺伝子名	CHD6
別名	CHD5 KIAA1335 RIGB
遺伝子 ID	84181.0
SwissProt ID	Q8TD26
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

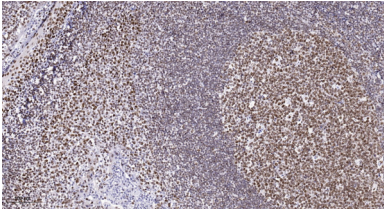
この遺伝子は、SNF2/RAD54 ヘリカーゼタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、2つのクロモドメイン、ヘリカーゼドメイン、および ATPase ドメインを含んでいます。複数のサブユニットからなるタンパク質複合体

がクロマチンをリモデリングし、細胞種特異的な遺伝子発現パターンを可能にします。コードされているタンパク質は、これらのクロマチンリモデリング複合体の1つ以上の中核メンバーであると考えられています。コードされているタンパク質は転写抑制因子として機能する可能性があり、インフルエンザウイルスの複製における細胞抑制に関与しています。 [RefSeq 提供、2013年7月],機能: 転写調節因子と考えられる。 ,PTM: DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による) ,配列注意: 配列は位置 1528 以降が不明な理由により異なります。 ,類似性: SNF2/RAD54 ヘリカーゼファミリーに属します。 ,類似性: ヘリカーゼ ATP 結合ドメインを1つ含みます。 ,類似性: ヘリカーゼ C 末端ドメインを1つ含みます。 ,類似性: 染色体ドメインを2つ含みます。 ,組織特異性: 普遍的。 ,

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。